

# 2022火山砂防フォーラムを開催

～「火山を知り、火山と共に生きる」～蔵王にございん！安心してお越しいただける地域を目指して～

## 《開催趣旨》

蔵王山においてふたたび火山活動が活発化した場合、「安全」を第一義として地域・関係行政機関が一体となり、迅速かつ的確な行動がとれる地域づくりを目的とし、活火山と上手に付き合う方策のひとつとして「ジオパーク」にも焦点をあてつつ、今後の安全性向上に向けた取組の方向性などについて意見交換を行うことを目的として開催。

## 《概要》

日 時：令和4年10月13日（木）13:15～17:00

場 所：宮城県蔵王町ふるさと文化会館「ございんホール」

開催方式：「ございんホールでの会場聴講」及び「ZOOMによるWEB配信」のハイブリッド方式で開催

参加者：約420名（ございんホール約370名、WEB約50名）

プログラム：開会式典、研究発表、パネルディスカッション

参加報道関係：河北新報

## 【開会式典】



### 主催者挨拶

村上英人  
火山砂防フォーラム委員会 委員長  
蔵王町長



### 来賓ご祝辞



西村明宏  
環境大臣  
内閣府特命担当大臣



鎌田さゆり  
衆議院議員



三上幸三  
国土交通省 砂防部長



志賀慎治  
宮城県知事代理  
(大河原地方振興事務所長)



# 2022火山砂防フォーラムを開催

～「火山を知り、火山と共に生きる」～蔵王にございん！安心してお越しいただける地域を目指して～

## ■研究発表

蔵王山の恵みを活かして！「若い世代で考えた 人を呼べるジオツアー」

宮城県蔵王高等学校の生徒たちが、ジオツアーを体験し、火山との共生を考え、火山の恵みを生かしたオリジナルのジオツアーを企画・実行し、その成果を発表しました。

発表者 宮城県蔵王高等学校 生徒

講評 宮城学院女子大学 宮原育子教授

## 学習の流れ

基礎学習授業



ジオサイト見学



ツアー計画



プレーツアーの実施



ジオガイドツアーの実施



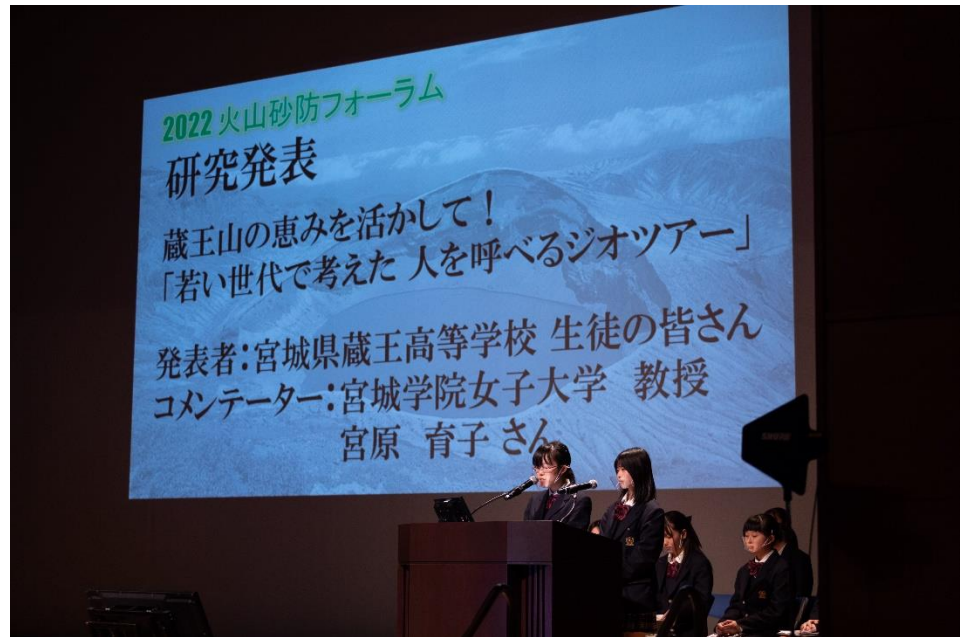
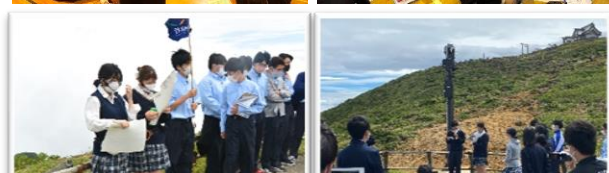
火山砂防フォーラム発表



5月27日(金) ジオサイト見学



6月1日(水) ジオサイト見学②





# 2022火山砂防フォーラム

～「火山を知り、火山と共に生きる」～蔵王にございん！安心してお越しいただける地域を目指して～

## ■パネルディスカッション

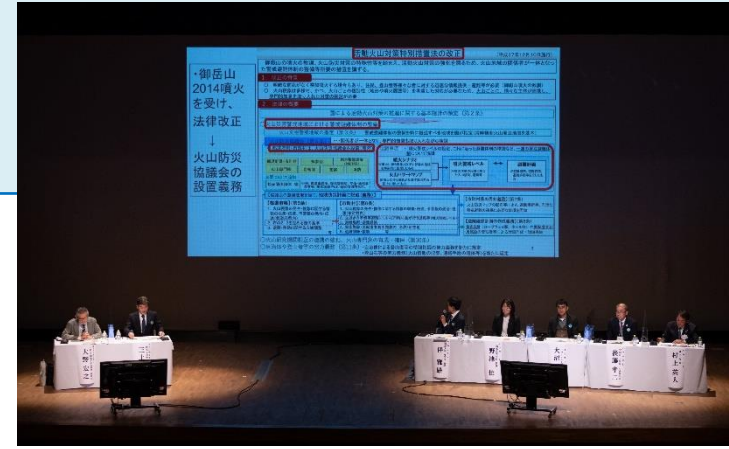
### 「安全・安心あつての火山地域振興」

「活動活発化以降の10年を振り返る」「火山地域を盛り上げるには」「安心して、お越しいただける蔵王を目指して」の3つのテーマについて意見交換を行いました。

コーディネーター：大野 宏之（一般社団法人 全国治水砂防協会 理事長）

パネリスト：  
 伴 雅雄（山形大学 理学部 教授）  
 野津 佳（蔵王高等学校 教諭）  
 大沼 邦充（上山市 公式クアオルト ガイド）  
 後藤 孝二（宮城県 大河原土木事務所長）  
 村上 英人（蔵王町長）

コメンテーター：三上 幸三（国土交通省 砂防部長）



大野 宏之  
一般社団法人 全国治水砂防協会 理事長



伴 雅雄（山形大学 理学部 教授）

- ・ジオパーク化も含めた蔵王山周辺における地域振興。
- ・県境を意識しない、組織を超えた連携が重要。
- ・静穏な時期が継続した場合における望ましい取組などのあり方など



野津 佳（蔵王高等学校 教諭）

- ・地球のメカニズムを学ぶことは、防災意識の向上にも寄与
- ・若い世代も含めて参加者が得られていることの手ごたえ、喜び。
- ・受験で地学が軽んじられる傾向にあり、地学の大切さや楽しさを発信したい。
- ・一人でも多くの人々に関心を持ってもらうため、地学教室など行政主導の取組もぜひ継続していただきたい。

# 2022火山砂防フォーラム

～「火山を知り、火山と共に生きる」～蔵王にございん！安心してお越しいただける地域を目指して～



## 大沼 邦充 (上山市 公式クアオルト ガイド)

- ・アスリートのための施設なども火山灰の土壌が足への負担を軽くすることが評価につながっている
- ・クアオルトの効果が上山市外にも広く知られるようになってきている。
- ・山岳レンジャーとしての活動、御釜から蔵王温泉（山形県側）に降りる避難道を新たに整備。



## 後藤 孝二 (宮城県 大河原土木事務所長)

- ・景観に配慮し、蔵王山から流出した巨石を表面材に使用。
- ・地域の環境と調和した施工事例として、全国から見学者がに訪れる。
- ・日頃の整備の成果により、令和元年東日本台風時の松川の氾濫はなかった。
- ・蔵王町役場屋上に監視カメラを設置



## 村上 英人 (蔵王町長)

- ・地域住民を対象とするガイドの育成に注力し、蔵王高校の取組を通じ、すそ野の拡大を期待。
- ・安全な地域づくりには、地域住民の蔵王山について、よく理解していること必要。
- ・蔵王山周辺市町と連携し、防災対策を推進。
- ・火山地域のネットワークを活かし、他火山からの学びを継続、活火山であることを忘れないよう努めたい



## 三上 幸三 (国土交通省 砂防部長)

- ・“インフラ”に興味を持ち始めた人々ための～インフラツアー実施。
  - 1) 砂防事業のスケール感や環境調和を活かす。
  - 2) 普段は入ることのできない場所に入れるという特別感。
- ・砂防施設は各地で世代を超え、防災教育の拠点になっており、地域を守ってきた砂防施設が新たに文化遺産に指定される個所が増加している。

## まとめ 【火山地域の地域振興について蔵王山とのかかわり】

- ・火山と地域の係わりについて“もっと”探してみる…クアオルトの様な新しい切り口
- ・地域のたくさんの方でそれを共有（ジオパークなどを通して～深まる防災への認識）
- ・広域で息長く連携し、火山噴火への警戒を緩めない努力